

いじめを考える児童生徒委員会について

子どもたちの願いが込められた「はだの子ども人権宣言」の実現をめざし、いじめを生まない学級・学年・学校風土をつくるために設置した、「いじめを考える児童生徒委員会」は、発足から14年目を迎え、各校においても「継続的な取組が効果をあげている活動」として定着しています。

今年度は年間4回の活動を予定しており、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら、第1回及び第2回の委員会を開催しました。

1 第1回いじめを考える児童生徒委員会

(1) 日時 令和3年5月9日(日) ※2部制で実施

・1部 9時15分から10時30分

(中学校区：本町、北、西、渋沢の11校)

・2部 11時から12時15分

(中学校区：南、東、大根、南が丘、鶴巻の11校)

(2) 会場 秦野市立堀川公民館

(3) 参加者

ア	児童生徒委員	1部22名、2部21名
イ	教職員	1部11名、2部16名
ウ	教育長	1名
エ	教育部長	1名
オ	市P連会長	1名
カ	教育指導課 及び教育研究所	11名
キ	合計	1部47名、2部51名



(4) 内容

第1回委員会は各校の代表児童生徒が教育長から委嘱状を受け取り、活動や目的について、指導主事より概要説明を受けました。また、中学校区ごとに昨年度までの活動等についての情報交換を顔合わせとして行いました。

2 第2回いじめを考える児童生徒委員会

(1) 日時 令和3年6月6日(日) 9時30分から12時

(2) 会場 秦野市役所教育庁舎

1A会議室、1D会議室、3階大会議室、小会議室

※4つの会議室をオンラインでつないだサテライト会議方式で実施。

(3) 参加者

ア	児童生徒委員	41名
イ	教職員	22名
ウ	市P連情報委員	2名
エ	教育指導課 及び教育研究所	11名
オ	合計	76名



(4) 内容

第2回委員会は、教育庁舎内の4つの会議室をオンラインでつないだサテライト会議方式を初めて取り入れながら、冒頭に児童・生徒相互の交流を深めるため、クイズ形式のふれあいタイムを設け、意見を出しやすくする明るく元気な活気あふれる雰囲気での会が始まりました。

その後、第1回のアンケート結果をもとに指導主事より「いじめが起きない・起きにくい学級・学年・学校の雰囲気」と「これまで本委員会が行ってきた過去の取組」について、講義を行い、理解を深めました。

後半は、児童・生徒から選出された委員長・副委員長が司会を務め、「いじめを生まない学校づくりへ向けた取組として、リーフレットを作成しよう」をテーマとして、各中学校区で協議を行いました。一枚の模造紙を囲み、誰に対して、どのような内容のリーフレットを作成することが良いのかについて意見を出し合った後、各校の代表者が各会場から発表しました。

なお、第3回委員会は引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、8月18日(水)に秦野市立堀川公民館にて実施を予定しており、これまでの本委員会の活動等を生かしながら、第2回のアンケート結果をもとにして、児童・生徒が協議する場を設けたリーフレット作成を進めていく予定です。